

## 「区自治協議会のあり方検討の方向性について（参考意見聴取）」

## 回答用紙【案】

## (1) 仕組み

検討が必要なもの	選択肢 ※番号に丸を付けてください	補足意見
区民の多様な意見を 生かす組織	1. 全市統一の組織（現行どおり） ② 区の実情に合った組織 3. その他 〔 〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農村部と都市部では状況が異なり、地域によって課題も違うと思うので、各区の実情に合った組織にした方がいい。</li> <li>・自治協議会を知らない人が多く、意見を言ってくる住民がいない。同じ30人の委員でも、人口3万人のところと13万人のところとでは動きやすさが違う。区の実情に合った組織でないと、区民の意見を吸い上げて生かすような組織にはなれない。</li> <li>・委員定数は、区によって多いところと少ないところがあるのはよくないので、現行どおりでよいのではないか。</li> <li>・団体選出者の任期については、それぞれ組織の代表として出てきているのだから、だれが何年務めるかは各団体に任せればよいのではないか。</li> <li>・コミ協選出の委員は任期が長くなっていいのではないか。一旦退任された方もまた選任されていいのではないか。</li> <li>・個人に委嘱するのではなく、団体に委嘱することにすれば、欠席の場合も代理が参加できる。団体内で情報共有するうえでも、その方がやりやすい。</li> </ul>

## (2) 役割

検討が必要なもの	選択肢 ※番号に丸を付けてください	補足意見
①意見提出 話し合うテーマをどう するか	1. 現行どおり ② 区のことの特化する 3. その他 〔 〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「区に関係すること」に特化されるよう、事務局の方で調整していただきたい。</li> <li>・他の区のことを議論してもしょうがない。</li> <li>・市全体のビジョンに対して区としてどう取り組むかについては、やはり意見を言うことは必要。</li> <li>・市全体のことより区に関するの方が話やすい</li> <li>・既にできあがっている計画について意見を求められても何も言えないし、仮に意見を言っても通らないのではないか。</li> </ul>
②地域代表 行政からの説明、報告 (全市に係るもの)は 今後も必要か	1. 必要（現行どおり） ② 案件によっては必要 3. 不要 4. その他 〔 〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な情報を知りたいが、必要かどうかは事務局の判断に任せたい。</li> <li>・報告件数が多いので簡単明瞭にしてほしい。</li> <li>・全市に関するものは内容が大きすぎて、選出団体によっては報告のしょうがない。</li> </ul>
③実施主体 自治協提案事業にどこ まで関わるか	① 現行どおり 2. 企画・立案まで 3. 意見出しまで 4. 提案事業は不要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員だけでは事業は実施できない。提案事業こそ区民と行政の協働事業である。</li> <li>・現状として、委員は企画・立案まで、細かな手続きなどは事務局任せとなっている面もあるが、実施主体として実際に事業に参加することでやりがいを感じることができる。</li> <li>・事業の内容が非常に充実しており、事務局は大変だと思うがぜひ継続してほしい。</li> </ul>

「協働の要」として引き続き期待するものとしていることについて、どう思いますか

(その他にも自治協のあり方全般に係ることなども記入可)

**【①意見提出について ～区役所が所掌する事務等について話し合い、区に対して意見を述べること～】**

- ・意見を述べることについて、全体会議で審議するだけでよいのか。せっかく各部会で担当分野を決めているのだから、まずは部会で審議し、それを全体会議で報告してもらえばいいのではないか。
- ・市政にもっとモノが言える場であってほしい。将来の人口減少等も踏まえ、行政改革に自治協が寄与できればと思う。
- ・全体会議が意見交換の場になっていない。決定したことの報告やそれに対する質問がほとんどで話し合いがない。

**【②地域代表について**

**～コミ協を中心とした委員同士の情報共有や意見交換を行い、それぞれの活動に活かすこと～】**

- ・地域住民と具体的なつながりがないのが原因なのか、自治協の地域における評価、認知度が高くなく、地域に帰ってから委員として情報発信するのが難しい。
- ・コミ協でも自治協委員からの情報が末端まで伝わっていない。情報が伝わるような仕組み作りが必要ではないか。
- ・自治協の報告はコミ協にとって資料でしかなく、意見を吸い上げるような仕組みになっていない。
- ・コミ協からの要望に対してそれを実行できるような予算が必要。

**【③実施主体について ～地域課題の解決（区づくり予算など）への主体的な関与～】**

- ・自治協に毎年500万円の予算が付き、区の主体的な事業を推進することができている。これは他の政令市と比べてもよい制度であるので、今後も予算確保をお願いしたい。
- ・事業を実施するまでに時間を費やしており、もう少し大事なことを話す時間があつたほうがよいのではないか。

※その他自治協のあり方全般に係ることについて、下記のような意見がありました。

- ・「協働の要」について説明されているが、自治協は実態的には「要」にはなりにくいと思う。「要」という大上段に構えることなく自由闊達な行政との討論の場であってほしい。そこから何かが生まれるのではないか。
- ・自治協第1期・2期は8区自治協総意のもと、市政に対しダイナミックな提言をしていたが、第3期以降その動きがなくなった。例えば、新幹線の空港乗り入れ問題などの大きな問題など、自治協の場で議論できなかったのは残念。市議会での議論が見えない中でこそ、自治協の出番であつたのではないか。
- ・「分権型政令市」を目指すのであれば、特色ある区づくり予算の他にも、もっと区に予算執行権を認めるべきではないか。